

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公表番号】特表2007-513835(P2007-513835A)

【公表日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【年通号数】公開・登録公報2007-020

【出願番号】特願2006-543969(P2006-543969)

【国際特許分類】

B 6 0 G 21/055 (2006.01)

B 6 0 G 17/015 (2006.01)

B 6 0 G 17/016 (2006.01)

F 1 6 F 9/12 (2006.01)

F 1 6 F 9/53 (2006.01)

【F I】

B 6 0 G 21/055

B 6 0 G 17/015 Z

B 6 0 G 17/016

F 1 6 F 9/12

F 1 6 F 9/53

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月5日(2007.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

軸線に沿って位置合わせされた第 1 および第 2 ねじり棒と、

第 1、第 2、および第 3 結合部材を含む継手であって、前記第 1 結合部材が前記第 1 ねじり棒に堅固に連結され、前記第 2 結合部材が前記第 2 ねじり棒に堅固に連結され、前記第 3 結合部材が前記第 1 部材に対して回転可能ではないが、軸方向に移動可能であり、前記第 1 部材と協働して空洞を形成しており、前記空洞の容積が、前記第 3 部材の前記第 2 部材に対する軸方向位置によって変化し、前記第 2 または第 3 部材が、前記第 2 部材および前記第 1 部材に対する前記第 3 部材の軸方向位置を制御する複数の傾斜部を有しており、前記軸方向位置が、前記第 1 部材と前記第 2 部材との間の相対的な回転の度合いによって変化し、これによって、前記空洞の容積が、前記第 1 部材の前記第 2 部材に対する角度位置に応じて変化するところの継手と、

前記空洞内の流体と、

前記空洞に連結されて、前記第 1 結合部材と前記第 2 結合部材との間で相対的な回転が起こる際に、前記空洞から排出される流体の流量を制御するバルブとを備える自走車両用スタビライザー。

【請求項 2】

前記流体は、少なくとも一部において磁気粘性を有しており、前記バルブ内に磁気粘性部分をもたらし、前記バルブは、その中の前記流体の粘性を制御する電気コイルを含む、請求項 1 に記載のスタビライザー。

【請求項 3】

前記バルブが制限手段を含み、前記コイルが前記制限手段において、前記流体の粘度を

制御する、請求項 2 に記載のスタビライザバー。

【請求項 4】

前記第 2 結合部材および第 3 結合部材に設けられた前記複数の傾斜部が、前記複数の傾斜部に当接する転動体によって分離されている、請求項 1 に記載のスタビライザバー。

【請求項 5】

軸線に沿って位置合わせされた第 1 および第 2 ねじり棒と、
前記第 1 ねじり棒に連結されて、前記第 1 ねじり棒と共に回転するハウジングと、
前記ハウジング内に位置し、前記第 2 ねじり棒に連結されて、前記第 2 ねじり棒と共に回転し、複数の傾斜部を有する回転子と、
前記ハウジング内に位置して、前記ハウジングに対して回転可能ではないが軸方向に移動するピストンであって、前記ハウジングと協働して空洞を形成し、前記空洞の容積が、前記ピストンの前記ハウジング内での軸方向位置によって変化し、前記ピストンが、複数の傾斜部を有しており、前記傾斜部は、前記回転子の前記複数の傾斜部に向けられており、そして、前記回転子と、前記ピストンおよびハウジングとの間の相対的な回転の結果として、前記回転子の前記複数の傾斜部と協働して、前記ハウジング内での前記ピストンの軸方向位置、および、前記空洞の大きさを決定するところのピストンと
前記ハウジングの前記空洞内の流体と、
前記空洞の容積が縮小する時、前記空洞から排出される流体の流量を制御するバルブとを備える自走車両用スタビライザバー。

【請求項 6】

前記流体は、少なくとも一部において粘性を有しており、前記バルブ内に流体の粘性部分がもたらされる、請求項 5 に記載のスタビライザバー。

【請求項 7】

自走車両の構成要素と、前記構成要素上において、前記車両の長さ方向に延びる軸線のまわりを旋回する左右の制御アームとの組み合わせにおいて、前記第 1 ねじり棒が、第 1 トルクアームを介して一方の制御アームと連結され、前記第 2 ねじり棒が、第 2 ねじりアームを介して他方の制御アームに連結される、請求項 5 に記載のスタビライザバー。